

No・オプション名	19) 整正幅可変アングリングブレード
使用機械	除雪トラック
使用工法	交差点、バスベイ
使用場所	道路(市町村道、県道、国道、高速道)右左折帯、バスベイやトンネル入り口など除雪幅可変作業場所。高速道路の休憩施設(SA、PA)や高速道路のランプ部。
使用法	暫定車線、登坂車線、トンネルやバスベイなどの車線数の変更などに対して、作業走行しながら油圧シリンダによりブレードをサイドシフトし、路面整正幅を可変して作業を行う。交差点やバスベイなど特定箇所では油圧シリンダによりブレードをサイドシフトして除雪幅を広くし、なおかつウインドロー(ブレードで排除される雪の列)を残さないよう、油圧シリンダによりブレードをアングリングし(推進角を変え)て巻き込み作業や前送り作業を行い、特定箇所を通過後ブレードを縮めながら排雪方向にアングリングしてウインドローとして解放する。また、高速道路の休憩施設(SA、PA)やランプ部などでは雪の堆積場所に応じてブレードの排雪方向の変更や前送り作業、ブレードの除雪幅などを可変し、効率よく除雪作業を行う。
機能構造	<p>構造的には整正幅可変ブレードにアングリング機能を持たせたもの。サイドシフトシリンダにより伸縮できるブレードによって作業幅を変えることができる。構造としては作業場所や目的により、次の3種類がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 固定ブレードに対して左右どちらかの片側ブレードがスライドする構造のもの。 2. 中央のブレードガイドに対して左右のブレードがスライドする構造のもの。 3. 中央の固定ブレードの両端にスライド式ブレードを装着したもの。 <p>両側ロッド式のアングリングシリンダのチューブと連結されたブレード支持部(ナックルブラケット、アーム、ホルダ、ヨーク、リフトシリンダ、チルトブラケット、チルトシリンダで構成される)が車両のフレーム左右で前後逆方向に移動することでブレードがアングリングする。</p> <p>ブレードのサイドシフト及びアングリングの作動は運転席でレバースイッチを操作し、電磁弁を切り替えて各油圧シリンダを作動させて行う。</p>
	 <p>写真 整正幅可変アングリングブレード(左から格納姿勢、拡幅、掻き出し姿勢、中央のブレードガイドに対して左右のブレードがスライドする構造のもの)</p> <p>例えば、写真の場合、トラックグレーダは、全長2.9 mから最大限伸ばすと4.2 mになる。ブレードは、それぞれ元の位置から左右に広がっている。</p>
特徴	道路状況に応じたきめ細かい除雪が、効率よく行える。
留意事項	後続車両へなどへの注意が必要。操作が複雑となるため、自動操縦装置などの運転支援装置が必要となる。また機械の価格上昇につながる。類似のオプションに整正幅可変ブレードがある。これは、アングリング機能を持たないものである。アングリング機能を除けば、構造や種類はほとんど同じである。

図・写真

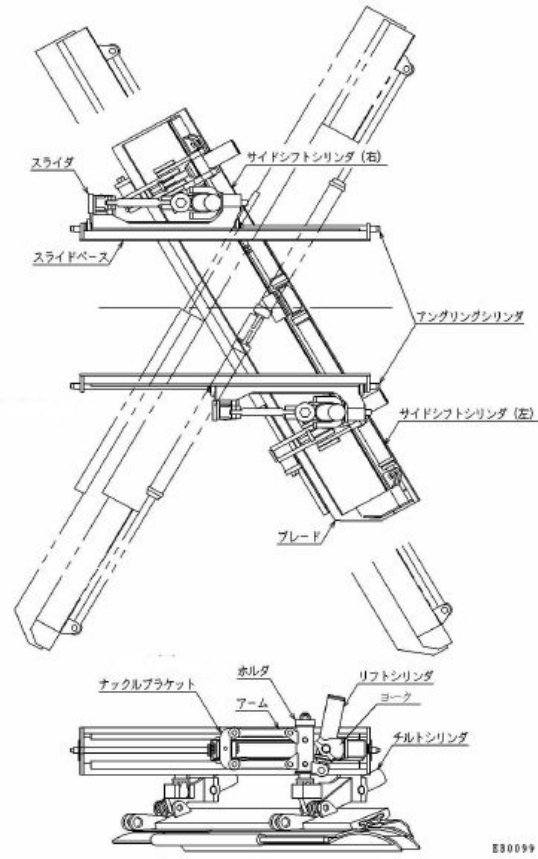


図 整正幅可変アングリングブレード

備考